



佐賀県唐津市。
(撮影・平野光一)

棚田を想う

農民作家・山下惣一

私たちが「田を作る」から「コメを作る」へ表現を転換させたのはいつごろのことであつただろうか？私の記憶によれば昭和三十六年の農業基本法のころからだったような気がする。それまでは「田を作る」と称していた。百姓はせっせと田を作り、その結果としてコメもムギもダイズもナタネも「できた」のである。いまでもわが在所では、田んぼに水を入れて田植のための一連の作業をすることを「田に成す」すなわち「たなし」といい、作物は「作った」ではなく「できた」「いいできだ」という。つまり、農産物は人間は作れない。どんなに科学技術が進歩してもコメ一粒、菜っ葉一枚製造できない。「できた」という表現には自然界への畏敬と感謝の念がこめられている。

「できる」農業から「作る」農業への転換が私が百姓として生きた時代の農業の近代化だった。結果は敗北だった、と私は思う。田んぼはコメという商品を生産してカネを稼ぐ場となり、ほどなくコメを作るよりパチンコ店の敷地として貸した方が有利となり、やがて地価の高いところで作るより安い外国から輸入した方が得だということになった。百姓は田を作る余裕はなく、まして、山に木を植えて次世代への無償の贈与など考えることさえ不可能な時代となった。で、それで私たちは幸せになったのだろうか？

養鶏をやっている友人の鶏舎に「今日の卵より明日のニワトリ」というスローガンが掲げてある。いい言葉だと思う。明日のニワトリを守ることがすなわち「田を作る」ことだったのである。

今日の卵だけを追求してきた文明と社会は根底から崩壊をはじめた。おそらく次の時代は「田を作る」思想によってしか維持できないだろう。そして、棚田こそはその象徴だ、と私は考える。

第9号 1998.1.20
(季刊・年4回発行)

発行／全国棚田(千枚田)
連絡協議会
編集／ふるきやらネットワーク
〒169 東京都新宿区百人町1-23-29-202
TEL 03-5389-9937/FAX 03-5389-9983

■…1997年活動より

□…1998年活動予定

福岡県浮羽町

モデル地区を対象に所得の安定などをめざす。石垣保存も

■棚田保全は、1995（平成

7）年度に策定した「浮羽町ふるさと農業活性化基本構想」で、中山間地域の道路や水路などの条件整備を行い、イベントを通じて都市住民との交流を促進し、理解や応援を求めていこうと1996（平成8）年度より取り組みが進行中。具体的な実施計画は町、JA、森林組合、学識経験者などで組織する「浮羽町ふるさと農業活性化推進協議会」に対して専門委員会を設置し、①労働の軽減（道路・水路の整備）、②所得の安定（直接所得補償・棚田米の高価格販売）について検討を行い、モデル地区「葛籠地区」にて取り組みを開始。

①労働の削減
「ふるさと水と土ふれあい事業」（平成9～11年度 葛籠地区にて、農道の拡幅・散策道の整備・農業用水路や石垣の修復など。この地区は、町のシンボル的農業景観で歴史的文化遺産といえるすばらしい石積みの棚田を抱え、この景観に即した自然工法をで景観で歴史的文化遺産といえるいく予定。さらに事業計画の策

1997から1998へ 棚田をめぐる 活動報告

（アンケート返答から）

奈良県明日香村。（撮影…門脇忠）



福岡県星野村

水稻栽培奨励、石積補修、休耕田の除草への補助金を交付

■1997（平成9）年度から、石積みの棚田が、村の景観を醸し出す貴重な文化遺産であるとして、棚田を将来にわたり、保全・保存する必要のある地域、約6haを区域指定し、生産基盤の整備、水稻など農作物栽培の奨励を図るために補助金を交付。（水稻栽培奨励、石積補修、休耕田の除草の補助金）

高知県梼原町

1998年に「千枚田オーナー制度」が7年目に

■1992年にスタートした「千枚田オーナー制度」が6年目に突入。31組のオーナーを迎えた。（募集実施内容は初年度から変更なし）

内子町は、水田のほとんどが棚田であり、しかも町内に散在している。このため環境的・景観的・歴史的見地から町内の「保全すべき棚田」を調査中。若手職員4人で「棚田調査班」を結成し、同町石畠地区、立川地区の調査を行う。全町の25%の進歩率。

□住民活動として

・農家の方々との顔合わせ

・4／末～5／初 あぜ削り、荒起こし、あぜ塗り

・5／中 田植え

・3／23 田んぼの割り振りと

・10／11 稲刈り、焼酎祭に参加

・11／7 収穫祭（脱穀）

□「千枚田オーナー制度」の7年目の募集。2月20日まで募集受付中。区画数31区画。1区画100m²・オーナー料金4000円（四十円）。

愛媛県内子町

全町の「保存すべき棚田」の調査を開始

■住民活動として

1996（平成8）年～1997（平成9）年、地域活性化グループ「石畠を思う会」が、内子町石畠地区の約15年荒廃していた棚田約10aを復田し、有機機（EMボカシ）無農薬栽培米

の生産を行った。稲刈りは地域外から5人ほど招き、交流を行つた。生産した米は、同グループが建築した水車小屋で精米し、「水車米」として稲刈りを手伝つてくれた人々に安く提供した。

また役場職員（若手5人）と農協職員（若手1名）で構成している「田ご作会」は、1999年から同町石畠地区で3年間荒廃していた棚田約30haで有機機（EMボカシ）無農薬栽培米を生産している。生産した米、約15俵は会員で分配。

行政活動として

内子町は、水田のほとんどが棚田であり、しかも町内に散在している。このため環境的・景観的・歴史的見地から町内の「保全すべき棚田」を調査中。若手職員4人で「棚田調査班」を結成し、同町石畠地区、立川地区の調査を行う。全町の25%の進歩率。

□住民活動として

地域活性化グループ「石畠を思う会」では、昨年の活動を広げ、棚田で生産されていた無農薬または減農薬米を水車で精米し、「水車米」として販売していくいたいと構想中である。

行政活動として

「保存すべき棚田」の調査をさらに進め、全町の棚田リストを整備し、最終的に保全のための制度を確立したいと考えている。

定を行う予定で約1千万円の予算が採択されている。（県営事業）

②所得の安定

イベント「棚田inうきは彼岸花めぐり」の開催、パッケージ商品（美味しい水「Pureうきは」とおいしい米「棚田清流米」）の開発を通じ、棚田米の高価格販売に取り組み中。

1998年度からは棚田オーナー制度も実施する。現在100mあたり4万円でオーナーを募集中である。福岡都市圏を中心とする200件を超える問い合わせがあり、初年度は先着順で50区画程度で実施。

③石垣保存検討委員会（事務局・教育委員会社会教育課）

平成9年度に、町内の石工・歴史研究家・地域おこしグループ・町職員等21名で構成。町内に

■棚田の石積の調査で石碑が発見され、天保8（1838）年に石積が築造されたことが判明。

■大分大学教育学部学生35名が星野村体験合宿の中で、ボランティアとして棚田の荒地（休耕田）の草刈りを行つた。

■棚田の石積の調査で石碑が発見され、天保8（1838）年に石積が築造されたことが判明。



徳島県上勝町

1998年は「上勝町棚田オトコンテスト」も第3回目に

■「上勝町棚田を考える会」が事業主体となつて第2回上勝町棚田オトコンテスト実施。出品作品の展示を地元と徳島市内の2ヶ所で開催した。さらに棚田ミニシンポジウムの開催。水車小屋建設中。

景観作物の導入実施中。棚田米袋の作成。

□今年は第3回上勝町棚田オトコンテスト実施予定。2ヶ所での展示予定。棚田米の販売も。

徳島県井川町

1998年には、棚田の認識を高めるための視察や研修会、保全および周辺対策事業を計画

■1998年には、棚田の認識を高めるための視察や研修会、保全および周辺対策事業を計画している。

□1997年の主な活動

- ・1/11 旧オーナーたちが地元の伝統行事網掛け行事に参加
- ・3/23 オーナー説明会
- ・4/27 棚田地区にて恋華まつり開催。「棚田宣言」
- ・5/11 田おこし、苗代づくり
- ・5/25 田植え前の草刈り
- ・6/14 代かき、あぜ塗り
- ・6/15 田植え
- ・6/28 蛻の夕べへの参加
- ・9/23 彼岸花祭りへの参加
- ・10/10 秋祭り
- ・10/19 稲刈り・はざかけ
- ・11/9 脱穀、糊スリ
- ・11/24 収穫祭
- ・12/20 忘年会、オーナー自主製作棚田ルネッサンス上映

■第3回全国棚田サミット開催。サミット開催

■「棚田貸します制度」の実施

- ・ふるさと・水と土ふれあい事業の実施(県営事業)
- ・ふるさと・水と土保全モデル事業の実施

兵庫県一宮町

棚田のある山田地区で、「石垣まつり」を開催

■一宮町「有機の里やまだ」(山田地区)では、山間の棚田を生

かした有機野菜づくりが成果をあげている。(契約オーナーによる貸し農園)とくに10月中旬に行われる「石垣まつり」は、石垣が実に美しい先祖伝来の棚田を守るために、また都市住民との交流を深めるために地場産の野菜の販売を中心イベントを盛り込み、盛大に行う。

奈良県明日香村

「棚田ルネッサンス」構想を立ち上げ、活動中!

■1996年度から実施している「棚田ルネッサンス」を開催。これは、「農」を通じて都市との

交流を行い、互いに学び行動し

て棚田を守る活動であり、人と自然との関係を見つめ直すという運動です。情報発信、荒廃地対策、所得の向上をめざす。

棚田オーナー制度による米づくりと地元のさまざまなイベントへの参加を行う。

□1997年の主な活動

- ・1/11 旧オーナーたちが地元の伝統行事網掛け行事に参加
- ・3/23 オーナー説明会
- ・4/27 棚田地区にて恋華まつり開催。「棚田宣言」
- ・5/11 田おこし、苗代づくり
- ・5/25 田植え前の草刈り
- ・6/14 代かき、あぜ塗り
- ・6/15 田植え
- ・6/28 蛻の夕べへの参加
- ・9/23 彼岸花祭りへの参加
- ・10/10 秋祭り
- ・10/19 稲刈り・はざかけ
- ・11/9 脱穀、糊スリ
- ・11/24 収穫祭
- ・12/20 忘年会、オーナー自主製作棚田ルネッサンス上映

□以下活動を企画。

- ・7/20～21 「ホタル鑑賞と草刈り体験」約20人募集。
- ・9/27～28 「稲刈り体験」

・5月下旬「田植えと山菜とり」・7月中旬「ホタル鑑賞と草刈り体験」

・9月下旬「稲刈りときのこと

ろのふるさと明日香」として運動を開していく予定。

■1997年は、コシヒカリのようになり、その景観を保つたためにさまざまな活動を行う。

■1998年は、コシヒカリの「オーナー制度」を行い、15人が参加した。また、荒廃棚田の再利用で自然に戻すべく、棚田を果樹林地に変更。全国の棚田の写真展を開催し、大好評であった。

■1998年は、棚田サミットの開催。日程は9月19日(土)～20日(日)を予定している。会員の方や一般のみなさんが参加しやすいように土、日、日の開催にしたいと考えている。最終的には2月に決定。

長野県更埴市

第3回全国棚田サミット開催。棚田貸します制度の実施

■・第3回全国棚田(千枚田)サミット開催

■「棚田貸します制度」の実施

- ・ふるさと・水と土ふれあい事業の実施(県営事業)
- ・ふるさと・水と土保全モデル事業の実施

■・「棚田貸します制度」の実施予定

- ・ふるさと・水と土ふれあい事業の実施(県営事業)予定

新潟県糸石町

「棚田の里」としての景観を保つためツアなどを企画

■「棚田の里」として知られるようになり、その景観を保つたためにさまざまな活動を行う。

■1997年は、コシヒカリの「オーナー制度」を行い、15人が参加した。また、荒廃棚田の再利用で自然に戻すべく、棚田を果樹林地に変更。全国の棚田の写真展を開催し、大好評であった。

■1998年は、棚田サミットの開催。日程は9月19日(土)～20日(日)を予定している。会員の方や一般のみなさんが参

加しやすいように土、日、日の開催にしたいと考えている。最終的には2月に決定。

新潟県安塙町

荒廃棚田の再利用で棚田を果樹林地に



長野県更埴市。(撮影:小林修二)

■…1997年活動より

□…1998年活動予定

■岡山県の「21世紀おかやま農林水産業活性化対策」(本部事務局は岡山県農林部農政企画課)の活動に参加し、農業・農村の活力向上に寄与する目的で推進

■岡山県の「21世紀おかやま農林水産業活性化対策」に参加

岡山県土地改良事業団体連合会

中山間地において高付加価値米の生産を!!

■1996年度から3カ年で取り組んでいる「稲作生産システム確立事業」の中で、主に中山間地(棚田)を対象とした生産組織等の育成を通じ、高付加価値米の生産拡大に努めている。優良事例現地研修会、外食産業における高付加価値米の現状についての講演会などを開催。

■イベント、「97くまもと農業フェア」「米まつり」にて有機農作物の啓蒙と棚田米をPR。

■「稲作生産システム確立事業」の認定生産組織代表者及び関係者を対象に、中山間地の条件不利地域における付加価値の高い稲作安定生産を目的とした研修会などを実施予定。

岡山県の「21世紀おかやま農林水産業活性化対策」に参加

岡山県の「21世紀おかやま農林水産業活性化対策」に参加

岡山県の「21世紀おかやま農林水産業活性化対策」に参加

■中山間地において高付加価値米の生産を!!

中山間地において高付加価値米の生産を!!

中山間地において高付加価値米の生産を!!

■1996年度から3カ年で取り組んでいる「稲作生産システム確立事業」の中で、主に中山間地(棚田)を対象とした生産組織等の育成を通じ、高付加価値米の生産拡大に努めている。優良事例現地研修会、外食産業における高付加価値米の現状についての講演会などを開催。

■中山間地において高付加価値米の生産を!!

熊本県経済農業協同組合連合会

長野県土地改良事業団体連合会

日本労働組合総連合会石川県連合会

株浜勝(福岡県大野城市)

萬田正治(鹿児島県鹿児島市)
鹿児島大学農学部
鹿児島県栗野町が主催する「栗野町棚田産直交流体験」に参加。栗野町の棚田は、見事な石垣に囲まれた棚田。栗野町は棚田米による純米酒をつくり、これによる町おこしもしております。協力支援していきたいと考えています。

平成10年度予算の政府案に 棚田保全に関する新しい制度が盛り込まれる

前号で紹介していました「棚田保全等に関する予算要求」が進展し、平成10年度の予算の政府案の中に盛り込まれました。その内容を農林水産省構造改善局にお聞きしました。

昨年12月、平成10年度予算の政府案が決定し、その中に棚田保全に関する新たな制度が盛り込まれました。これまで対策が不十分であった棚田の保全にようやく国として本格的に乗り出すことになったのです。

今回、ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策事業の見直しが行われ、その中に棚田保全対策事業として盛り込まれました。この対策によって農林水産省は、荒廃の進む中山間地域の棚田を対象に、まずハード面として今後3年間、景観の保全等に配慮しながら小規模な排水路や農道の整備などを全国数百ヶ所で細かく展開すること。

そしてソフト面として、整備後も斜面の草刈りや用排水路の保全管理など労力のかかる実態を踏まえ、一定期間営農を継続する意志のある農家が協同実施する保全・利活用活動にかかる

経費の支払い等を行うというものです。

こうした山岳地域などで営農を継続する農家への直接所得補償（デ・カップリング）は、すでに欧州連合（EU）では実施されていますが、日本では、今回のような農業がもつ国土や環境保全機能に着目した補償措置が条件不利地域に限定して行われるのははじめてです。

具体的に、棚田の保全・利活用活動への都市住民の参加を促す保全ネットワーク推進事業を実施するとともに、民間の資金もつくり、棚田地域の農業集落に保全・利活用にかかる経費として2～3万円／10a程度を支払うこととしています。

今回の事業の特徴は、欧州で環境NGOに対する補助の方式として導入されている「マッチング・ファンド方式」を採用していることです。この方式は、

全国棚田（千枚田）連絡協議会

会員募集中

お申し込み・お問い合わせは、協議会事務局

佐賀県西有田町役場農林商工課まで

佐賀県西松浦郡西有田町大木乙2202
TEL(0955)46-2111 FAX(0955)46-2100



新しく会員になったみなさま

正会員〈個人会員〉
山口県 深田三夫

賛助会員〈個人会員〉
福岡県 内藤淳

編集後記

みなさまアンケートにご協力、本当にありがとうございました。各地でさまざまな活動が行われ、みなさまの熱い思いがあることを知ることができました。すべての会員の方にお送りし、勝手ながらご返答いただいた方々の分のみまとめさせていただき掲載しています。記載内容に間にまして記述いただいたものに準じましたが、不備な点などあるやもしれません。その際はどうぞお許しくださいませ。なお、前号ZP最後の行「補助整備」を「ほ場整備」に訂正いたします。たいへん失礼いたしました。今後ともみなさまからの情報、募集のお知らせなどお待ちしています。

石井里津子

明けましておめでとうございます。

新春とは言え春はまだ浅く、これからが冬本番を迎えるが、棚田の畔にたたずめば寒風の中にも春の息吹を感じられます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、棚田地域の市町村や棚田に熱い思いを寄せる人々などの加入によって全国棚田（千枚田）連絡協議会を結成してから早3年目を迎えました。その間、棚田を守る運動として、国民的理得を得るためサミットの開催などを通じ、棚田保全の公的支援を国など関係機関に強く要望してまいりました。そしてこの度、農林水産省の棚田地域に対する深い理解と関係者のご尽力により棚田地域等保全対策にかかる新規制度が創設される運びとなりました。

この対策は、従来にない発想で、棚田地域の持つ多様性にきめ細かく対応するために必要なハード整備と整備後の保全活動を支援するもので、棚田を抱える市町村として大いに期待をいたしております。特に、保全活動の支援については、「棚田地域水と土保全基金」を設置し、その運用益の活用と併せ都市住民など公益的機能の恩恵を享受する人々のボランタリーな保全活動と国民各層からの募金の積極的な受け入れにより、組織的、持続的な保全・利活用活動を行っていくものであります。

そのためには、全国的な啓発・普及、情報収集・提供などが必要であり、連絡協議会の果たす役割はきわめて重大なものがあります。また、この制度を強固なものにし、さらに発展させるためにも連絡協議会の活動に寄せられる期待も大きく、決意を新たにいたしているところであります。

棚田保全のキーワードは「相互理解」と「共生」。今こそ棚田を抱える全国の市町村が心と心をひとつにし、また消費者や都市の住民の方々の理解と合意を得、共に手を携えて棚田保全の運動の輪を全国に広げるために、全国棚田（千枚田）連絡協議会に参加されることを期待いたします。

全国棚田（千枚田）連絡協議会長
佐賀県西松浦郡西有田町長 藤 寛